

算数

➡ 1年生 | 「たしざん」

たのしい！わかりやすい！授業を目指して！

～パネルシアターを用いて～

1. はじめに

授業をするにあたって、視覚に訴える絵や図を用いることは、学習内容をより深く理解させるために必要不可欠である。特に算数では、具体物を演算に合わせて操作したり、図で演算の過程を表したりすることが多い。何度も繰り返し使え、準備の手間がかからない補助教材がないかと考え、「パネルシアター」に注目した。

2. パネルシアターとは

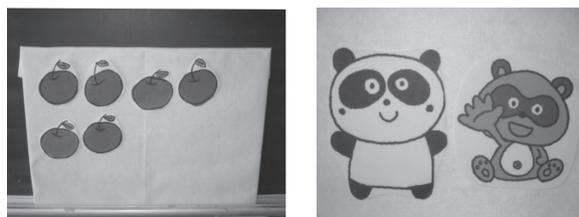
パネルシアターは、毛羽立ちのいい布を貼ったパネルに、不織布に描いた人形などを貼ったりはずしたりして、歌やお話に合わせて演じる小舞台である。幼稚園や保育所では、紙芝居と同じくらい頻繁に使われており、私が幼稚園教諭と保育士の実習に行った際も、歌を歌う場面やお話を聞かせる場面などで、現場の先生方がよく使用していた。

パネルに貼り出された絵が動き、場面が変化するので子どもたちも夢中になる。元気よく遊んでいた子どもたちが、パネルシアターが始まった途端にシーンと静かになり、引き込まれていたのを思い出した。パネルシアターなら、子どもたちも興味をもち、集中できる教具として使えるのではないかと考え、算数の授業で取り入れることにした。

3. 算数の授業での様子

私は次のようにして算数の授業を行ってみた。

- ①問題（右上参照）を読みながら、不織布にキャラクターとりんごを貼っていく。
- ②問題を板書し、子どもたちにもノートに書かせる。
- ③問題を解かせる。



問題 なかよしのぱんだとたぬきが、りんごがりに行きました。ぱんだがりんごを4こ、たぬきが2こ取りました。ぜんぶで、何このりんごをとったでしょう。

4. 子どもたちの反応

「ブロックもいいけど、絵のほうが楽しくてわかりやすい」という声を子どもたちから聞くことができた。また、授業が終わると、「先生、パネルシアター貸して下さい」と言って、友達とたし算問題づくりをする子どももいた。「たぬきがりんごを2こ買いました。ぱんだがりんごを3こ買いました。あわせて、何こ買ったでしょう」と、パネルシアターのりんごや動物を貼りながら問題づくりをする子どもたちの姿を見て、ブロックを操作するような感覚で、子どもたちがパネルシアターを操作できるということがわかった。

5. 授業で使うとこんなメリットがある！

私が授業にパネルシアターを取り入れて、次のようなメリットがあった。今後も、効果的な補助教材を取り入れて授業を行っていきたい。

- ・子どもたちの視覚に訴え、興味をもたせることができる！
- ・一度絵を作成しておくことで、問題に応じて何度も使うことができる！
- ・コンパクトなので、黒板の横に立てかけたり、取り外したりすることができる。